
POWER BOX

22205-TS002

取付 / 取扱説明書

TOM'S

安全上のご注意

この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただくために、装着前ならびに組み立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡してください。品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や取り扱いによって受けられた損害や、改造、変造など行った製品を使用して受けられた損害については、弊社はその一切の責任を負うことができませんので予めご了承ください。

※ 本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味）



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- ・ 本製品は、DC12V 車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V または 12V・24V 兼用車に使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
また、配線にはヒューズを取り付けたり、車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を取らないようにしてください。
- ・ 本製品の取付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。
- ・ 接続、取付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。
ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業を行ってください。
- ・ 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・ 本製品を非常に高温になる場所や水が直接かかる場所には本製品を取り付けしないでください。
感電・火災・電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、エンジン本体やタイミングベルト付近など回転系や駆動系付近には取付けしないでください。
本製品の破損や故障、不具合、事故の原因となります。
- ・ 本製品の取付け作業を行う際は、エンジンの温度が十分に下がってから作業を行ってください。
エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。

安全上のご注意



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。

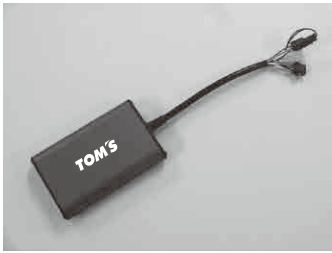
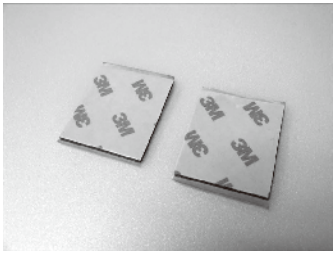
- ・ 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちることがあります。
- ・ 装着車両に、本製品以外に本製品同様のシステムを搭載した製品との併用を行った場合には、本製品の故障や車両の不具合が発生する可能性があります。
この場合、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・ 本製品は純正 ECU 車両を前提に企画されております。
純正以外の ECU を取り付けている場合や ECU の書き換えを行っている場合には、絶対に取り付けを行わないでください。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損しますのでご注意ください。
- ・ 本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり誤作動を起こす可能性も考えられます。
各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。

□ 必ずお読みになり、よくご理解ください。

- ・ ターボ車の圧力センサーの制御を最適化することで、実際に車両の最高出力の上昇を実現します。
- ・ 体感的な部分には個人差があり、車種によっても制御方法の違いや個体差があるため体感しづらい場合もございます。予めご了承ください。

パーツリスト

装着前に必ず不足品がないかご確認ください。

			
本体ユニット × 1	専用圧力センサー ハーネス × 2	両面テープ（大）× 2	タイラップ 200m × 4
			
タイラップ 250m × 2	取扱説明書・保証書 × 1		

コネクター形状

圧力センサー



⚠ 取り付け前に必ずお読みください ⚠

取り付けの作業はエンジン停止後（イグニッション OFF 後）、スマートキーを車両から 10m 以上離し、【 15 分 】 以上経過してから作業を行ってください。

⚠ スマートキーが近くにあると、エンジンを停止しても、しばらくセンサーの電源が切れない場合があります、その状態でセンサーのコネクターを抜くと、センサー信号断線となり、エンジンなどのチェックランプが点灯する場合があります。

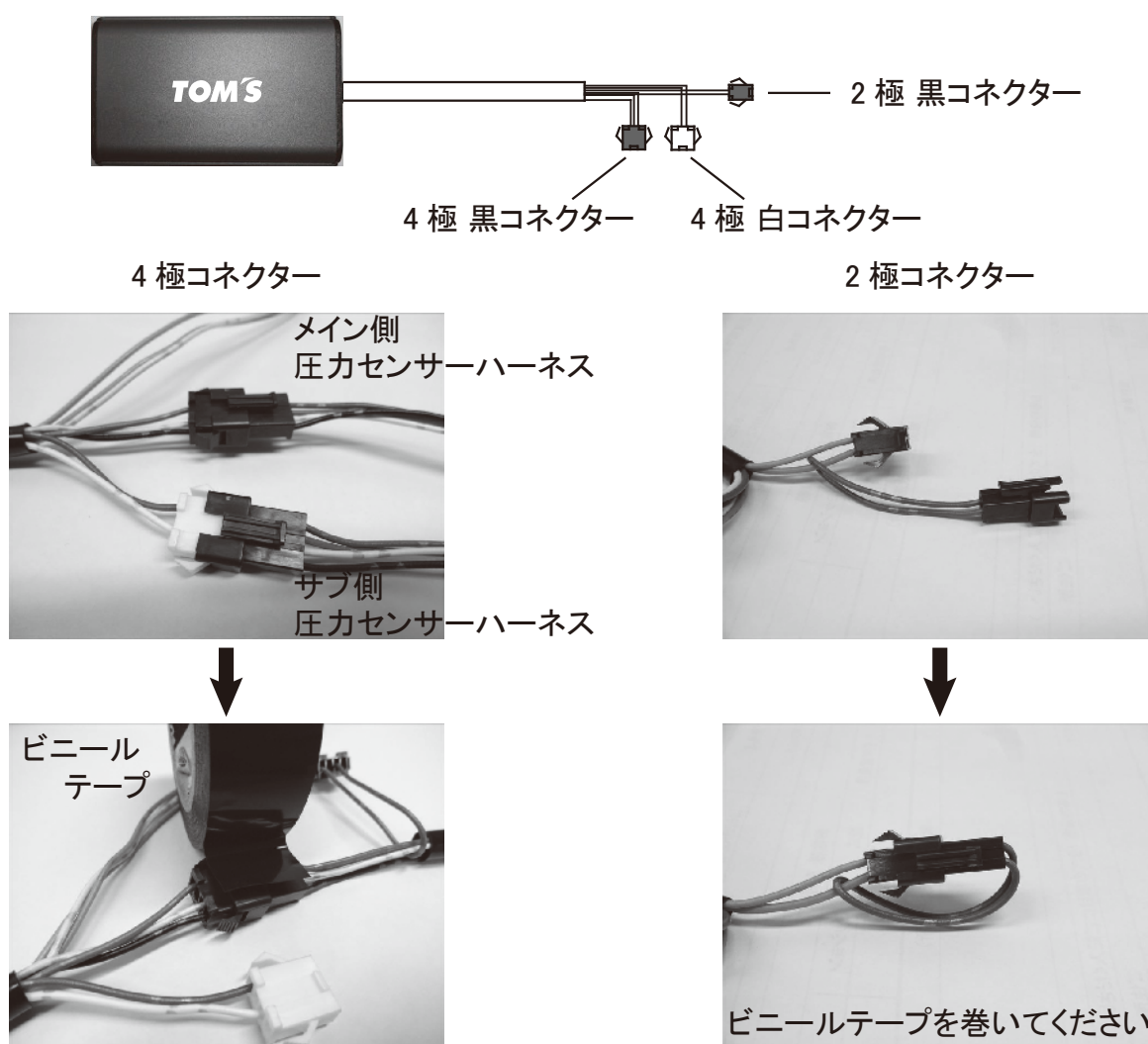
〔 1 〕 製品の取付け

- ① 次ページ以降の車種別の圧力センサーの接続説明に従い、圧力センサーハーネスを接続してください。
- ② 下記の指示に従い、圧力センサーハーネスとパワコン本体ユニットを接続してください。
接続後はコネクター保護のため、各コネクターにビニールテープを巻いてください。
- ③ 本体ユニットを付属の両面テープで固定してください。
※ エンジン本体や非常に高温になる場所には取付けしないでください。

4極 黒コネクター : メイン側圧力センサーを接続

4極 白コネクター : サブ側圧力センサーを接続

2極 黒コネクター : ループコネクターを接続



以上で、取付け作業が完了となります。

本製品は取付け直後からブーストアップ、パワーアップする仕様のため、本体の設定はありません。

[2] 圧力センサーの取付け

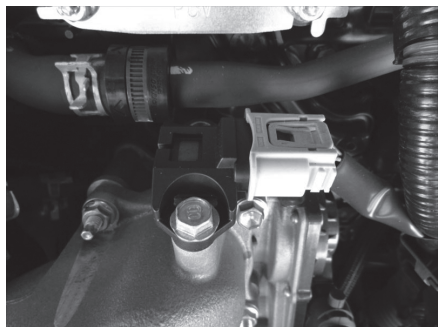
初めて車両の圧力センサーのコネクターを脱着する場合、非常に固く外しづらい場合があります。
この場合、工具等で無理に外そうとするとコネクターが破損する恐れがありますので、絶対におやめください。
ドライヤー等で適度に温め、柔らかくすることで外しやすくなります。

▼ C-HR、オーリス、カローラ、カローラスポーツ、カローラツーリング

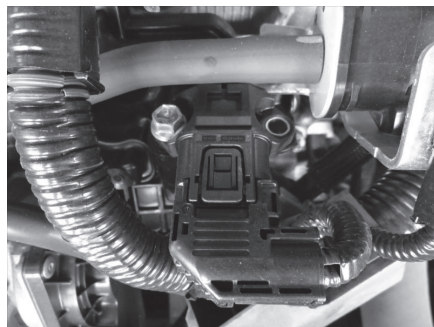
インテークマニホールド（メイン）とスロットルボディ前（サブ）に純正の圧力センサーがあります。



圧力センサー（サブ側）

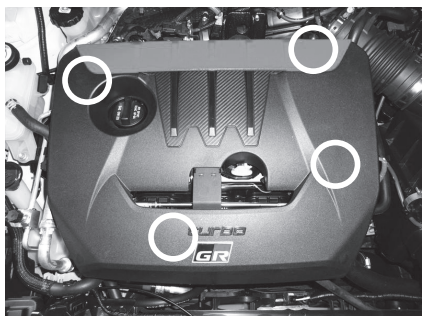


圧力センサー（メイン側）

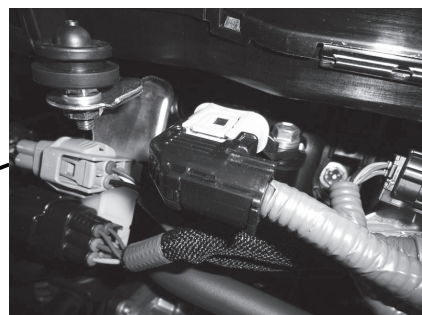
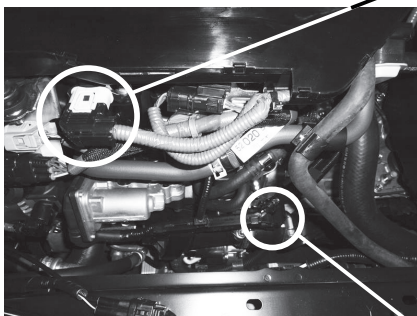


▼ GR ヤリス RZ

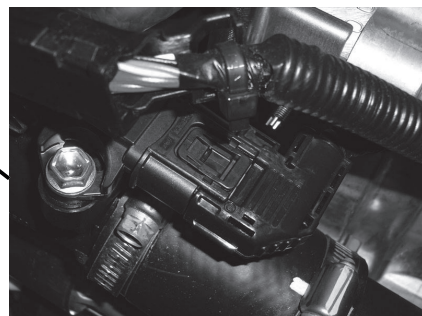
エンジンカバーを外し、
インテークマニホールド（メイン）とインテークパイプ（サブ）に純正の圧力センサーがあります。



グロメット 4 か所



圧力センサー（メイン側）



圧力センサー（サブ側）

⚠ 注意 ⚠

車両の年式やグレード、仕様変更などにより形状が異なっている場合があります。
本製品に同梱しているハーネスのコネクターと形状を見比べ、形状が違う場合には装着できませんので、無理な装着や配線加工等は絶対に行わないでください。

⚠ 注意 ⚠

本製品が適合する車型について、メイン側圧力センサーの車両側コネクターは、純正リテーナーの勘合が緩く、製品同梱のメイン側圧力センサーハーネスを抜き挿しすることで、純正リテーナーと一緒に外れる場合がありますので、ご注意ください。



リテーナーが外れた状態



リテーナー

トラブルシューティング

本製品の使用にあたり、正常に動作しない場合などは下記項目をチェックしていただき、症状の確認と不具合の改善を試みてください。

ご確認いただいても症状が改善しない場合は、販売店・取り付け店にご相談いただくか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

症状	原因および対策
アイドリング不調	・取り付け作業時にバッテリーを外した場合、アイドリング学習が必要な場合があります。アイドリング学習の方法については販売店もしくはカーディーラーにお問い合わせください。 ・圧力センサーのコネクターが抜けかかっている可能性があります。確実にロック位置まで挿し込まれているか確認してください。
エンジン不調	・圧力センサーのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ ・圧力センサーのコネクターが抜けかかっている可能性があります。確実にロック位置まで挿し込まれているか確認してください。
エンジンチェックランプが点灯	・エンジン停止（IG-OFF）後、15分以内に圧力センサーのコネクターを抜く、またはスマートキーを車両から遠ざけない状態でコネクターを抜いていませんか？ ・圧力センサーのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ ・圧力センサーのコネクターが抜けかかっている可能性があります。確実にロック位置まで挿し込まれているか確認してください。
ブースト特性が変わった	・ターボチャージャーなどの過給器付き車両の場合、ブースト特性が変わる場合があります。特にブーストアップやタービンの変更を行っている場合は、ブーストの再調整を行ってください。

⚠ 圧力センサーハーネスのノーマル復帰 ⚠

- ・圧力センサーハーネスにはノーマル復帰用のコネクターが付属しています。車両のチェックランプが点灯した際には、圧力センサーハーネスをノーマル復帰コネクターで下記写真のようにノーマル復帰させ、不具合原因の特定を行ってください。



⚠ チェックランプ消灯方法 ⚠

- ・作業ミス等でエンジンチェックランプが点灯した場合は下記手順でチェックランプの消灯を試みてください。
- ① 圧力センサーハーネスを取り外し、車両を純正状態に戻し、エンジンの始動と停止を数回繰り返してください。
(この操作によってチェックランプが消灯しても、点灯した履歴はECUに残っています。)
 - ② ①の操作を行っても消灯しなかった場合、純正状態のままバッテリーのマイナス端子を5分程度外し、マイナス端子を戻してください。
 - ③ ①および②の操作を行ってもチェックランプが消灯しない場合は、販売店やカーディーラーにて専用の診断機を使用して消灯させてください。

お問い合わせ

■製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社 トムス
所在地	〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10
T E L	0 3 - 3 7 0 4 - 6 1 9 1
F A X	0 3 - 3 7 0 4 - 9 4 8 6
U R L	https://www.tomsracing.co.jp/

MEMO

TOM'S
